

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **農地流動化対策利子補給拡大事業**

[5031]

部名	経済部	事業開始年度	平成9年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 当該事業において認定した農地取得に係る資金を償還継続中の農業者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) 当該事業において認定した農業者の農地取得に係る資金を償還継続中の農業者に対して利子補給する。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 金利を軽減することにより農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業生産の基盤強化を図る。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	償還継続中の農業者数	人	28	27	17	24
対象指標2						
活動指標1	利子補給額	千円	586	500	262	430
活動指標2						
成果指標1	利子補給者数	人	28	27	17	24
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	586	500	262	430
正職員人件費 (B)		千円	836	830	806	815
総事業費 (A) + (B)		千円	1,422	1,330	1,068	1,245

費用内訳	
22年度	負担金 補助及び交付金 262千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由・
根拠は？

土地取得により規模拡大等を図った農業者の経営安定を図るものであります。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由・
根拠は？

農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業生産の基盤強化につながっています。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由・
根拠は？

借入資金の実質金利の引下げとなり経営安定につながっています。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

新たな対象者は発生しないため、対象者、利子補給額は、今後減少していきます。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由・
根拠は？

農地取得に係る利子の軽減を図り、農業経営を圧迫しない定型的な事業であり、事務についても最小限で行っています。